

# 令和6年度 意匠調査研修(審査官の視点に近づこう!)実施報告

令和7年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館(INPIT)では、令和6年度 意匠調査研修(審査官の視点に近づこう!)をオンラインにて実施いたしました。

本研修では、特許庁の意匠審査に基づいた先行意匠調査に関する講義や、意匠制度の魅力や活用することのメリットなどについて紹介、解説したほか、特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を利用した検索実習等を行いました。

## 1. 研修の概要

(1)日程	10月23日～25日(3日間)
(2)開催方法	オンライン
(3)参加人数	18名
(4)講師	2名

## 2. アンケート結果 (回収率:89%)

(1)研修全体として	人数	割合
・非常に有意義であった	12名	75%
・有意義であった	3名	19%
・どちらとも言えない	0名	0%
・有意義でなかった	1名	6%
・とても有意義でなかった	0名	0%
・無回答	2名	—
(2)主な意見・要望	・類否判断の具体的な手法が理解でき、今後の意匠実務に十分生かせる内容の講義であった。 ・意匠制度について網羅的に学べた上に、実習やディスカッションがあるのが良かった。 ・意匠の基本から実務・調査に沿った内容で大変勉強になった。類否の考え方が特に勉強になり、自分の中であやふやだった部分が少し形になったように思う。今後仕事をしていくうえでベースにできそうと感じた。 ・意匠概論では法律的なことの再確認、調査では先生のお考えを聴講でき、とてもためになった。	